

## PFAS 食品健康影響評価のまとめ（案）（今後の課題）

＜リスク管理における留意点＞

- ・ 本評価結果を踏まえて、国内においても、PFOS、PFOA、PFHxS の摂取量を低減するための管理措置の検討が必要である。
- ・ PFOS、PFOA、PFHxS による健康影響については、情報が不足している点、不明な点等が多いため、現時点での評価結果を踏まえるだけでなく、新たな科学的知見に基づく評価の見直しを想定した管理措置の対応が求められる。
- ・ PFOS、PFOA、PFHxS 以外の PFAS と健康影響との関連については、今回は情報収集・評価は行っていない。PFOS、PFOA、PFHxS の物質ごとに管理するのか、総計値として管理するのか、他の PFAS の管理についてどのように考えるかについては、リスク管理として検討いただきたい。
- ・ 管理のための分析方法、分析に要するリソース、低減方策、低減に要するコスト等を踏まえて、実現可能な範囲で管理措置を執るにしても、状況把握や管理措置の見直しの要否の検討を継続的に行っていくことが必要である。
- ・ 飲料水中・食品中の PFAS 濃度に関する実態把握を早急に進めることが必要である。特に食品については、基準値の設定を想定した信頼できる統計量の算出可能な検査を実施し、基準値の設定の要否を検討することが必要である。

＜今後の検討課題＞

- ・ PFOS、PFOA、PFHxS と健康影響との関連についての動物試験、作用機序解明等に関する情報収集。
- ・ PFOS、PFOA、PFHxS 以外の PFAS と健康影響との関連に関する情報収集。
- ・ PFAS のばく露量（摂取量、血中濃度等）に関する情報収集。
- ・ PFAS のばく露量と健康影響との関連に関する情報収集。